

形成外科学 〈D3, 4, 11, 13, 14〉

オーガナイザー

形成外科学 教授 朝村 真一

教員名

教授 朝村 真一、講師 和田 仁孝、講師 宮崎 英隆、助教 上野 一樹

I 一般学習目標

形成外科学総論および各論の知識をもとに、外傷、腫瘍、先天異常による欠損や変形の病態を理解し、医療の中における形成外科学の役割を学ぶ。

II 個別学習目標

- (1) 形成外科の定義および対象疾患を述べることができる。
- (2) 形成外科と美容外科の違いを説明できる。
- (3) 皮膚の断面構造を図示できる。
- (4) 血行形態による皮弁分類を図示できる。
- (5) 創傷の治癒過程を説明できる。
- (6) 手術手技である縫合法、Z形成術、W形成術について説明できる。
- (7) 形成外科領域の急性外傷性疾患（顔面・手外傷、熱傷）のプライマリーケアを説明できる。
- (8) 形成外科領域の慢性潰瘍性疾患（難治性下腿潰瘍、褥瘡、虚血性下肢、リンパ浮腫）のプライマリーケアを説明できる。
- (9) 組織移植術について述べることができる。
- (10) マイクロサージャリー（微小血管外科）について述べることができる。
- (11) クラニオフェーシャルサージャリー（頭蓋顔面外科）について述べることができる。
- (12) 先天異常の用語と定義を述べることができる。
- (13) 形成外科と再生医療（組織工学）について説明できる。

III 教育内容

- (1) 形成外科の治療は創傷治癒のメカニズムや解剖に基いていることを学ぶ
- (2) 手術は、創造性が重要であることを学ぶ。
- (3) 再建法の基礎である組織の血行動態および、皮膚・軟骨・骨の創傷治癒過程について理解する。
- (4) 代表的疾患について、それらのX線、CT、MRI、エコーの所見が述べられるようにする。
- (5) 講義で提示する疾患について、病態・手術時期・手術解剖・再建術式・周術期管理・術後合併症について理解する。
- (5) 各臨床教室との合同カンファレンスに参加する。

IV 講義項目と担当者

形成外科学総論・創傷治癒総論	教授 朝村真一
外傷・手外科	講師 和田仁孝
頭蓋顎顔面外科	講師 宮崎英隆
先天異常	助教 上野一樹
再建外科	静岡県立がんセンター形成外科部長 中川雅裕

VI 評価の方法

定期試験を設けないため、評価は講義への出席状況（評価の40点）が重要となる。その他、小テスト（30分程度 60点満点）を9月27日5限目講義内に行い、出席と併せて評価する。

V 推薦する参考書

標準形成外科学第6版

医学書院

本体

5,800円

形成外科学第2版

南山堂

本体

6,000円

講 義 日 程 表

形成外科学

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R2.9.4	(金)	4	形成外科総論	形成外科	朝村
2	R2.9.4	(金)	5	手術手技と創傷治癒	形成外科	和田
3	R2.9.8	(火)	5	再建外科	形成外科	橘/外部講師
4	R2.9.11	(金)	4	先天異常・後天性疾患	形成外科	上野・宮崎
5	R2.9.11	(金)	5	美容外科・総括テスト	形成外科	白川・橘